

「(仮称) 道の駅姫路」の夢を語るアイデア会議 開催記録

— 子どもといっしょに行きたくなる道の駅を考えよう! —

1. 開催概要

○日時：令和3年(2021年)6月22日(火)9時30分～11時10分

○場所：姫路市役所10階第四会議室

○参加者：18名(子どもがいる市職員)

*その他運営等

- ・姫路市道の駅アドバイザー(一般財団法人地域活性化センター吉弘新事業企画室長)
- ・一般財団法人地域活性化センター(北川副参事)
- ・姫路市産業局商工労働部道の駅推進室(森、森川)
- ・(株)地域計画建築研究所(アルパック)(委託事業者)(原田、三浦、武藤、新開)

○プログラム：

開会

- 1 はじめに(趣旨説明)
- 2 前提条件(基本構想)の共有
- 3 アイデアの語り合い【グループ別】
 - ・はじめに、参加者の紹介
 - ・テーマ①：「姫路市内や周辺で、子どもを連れていく場所、その理由」
 - ・テーマ②：「子どもを連れていきたくなる道の駅とは」
- 4 全体での共有

閉会

○開催の様子：



2. 開催結果（参加者の意見・アイデア）

●魅力化に向けて

- ・「ついで」ではなく、「目的地」となるためには、キラーコンテンツが必要。
- ・キラーコンテンツのなかでも、「食」は特に重要。ご当地アイス、ご当地コロッケなど。肉、発酵(播磨ならではのもの)はどうか。大人にとって選ばれる基準になる。
- ・SDGsにも配慮して、まちの負担にならずに、長く続けていける道の駅が良い。
- ・同じところに遊びに行っても、子どもは飽きない。親が飽きないための工夫が必要。

●子どもを連れて行きたい場所

- ・自宅から片道1～1.5時間圏内が候補になる。それ以上は子どもが限界。
- ・どこの公園も混んでおり、公園はいくらあってもよい。
- ・「大型遊具」が重要度No.1。噴水も人気(小野のひまわりの丘公園のように、下から噴きあがるタイプ)。
- ・「駐車場が広い」、「買い物ができる」、「食事ができる」、「遊具がある」複合型の公園が少ない。結果として、イオン姫路リバーシティ(飾磨中央公園が隣接)、ニッケパークタウン(大型室内公園併設)は全体の満足度が高くなる。
- ・お金を使わずに過ごせる場所が良い。
- ・「子どもが遊んでいる間に買い物ができる場所」によく行く。託児所があると便利。
- ・母親にとってはキーワードとなる「清潔感」がある場所は重要。
- ・大人も子どももくつろげる場所。

●遊び場・遊具

- ・遊具は「船」、「恐竜」、「コンクリートの壁」、「シンボリックな樹上の家(ツリーハウスのようなもの)」など、コンセプトがあるものがよい。子どもの記憶にも残る。
- ・大きい木があればシンボルになる。
- ・お城の形をしたトランポリンは名物になるのでは。
- ・ハンモックは、よい体験になるのでは。大人も楽しい。
- ・雨でも遊べる遊具(室内、屋根のある屋外広場等)。
⇒ニッケパークタウンのピュアキッズなど、屋内に遊具があると便利。
⇒雨の日に行ける場所が少なく、施設が混み合う。
- ・長いすべり台(ローラータイプ)が断然人気。
- ・大人の目の届く中で、子どもが遊べる場所がほしい。
- ・年齢によって、分かれていると安心。小学生と未就学児(年長、年少)。
- ・アウトドア活動や、キャンプなどができる。
- ・子どもは水があると喜ぶ。足湯や噴水はこの辺りにないので、名物になるかも。
⇒天川を使って水遊びができる場所
- ・浜手緑地(白浜地区)は駐車場があって連れて行きやすく、遊具が大きくて子どもも喜ぶ。

●催しなど

- ・ストライダーのレース。
- ・はいはいカップ(子どもがはいはいするレース)。
- ・期間限定の出店。
- ・市内の美術館等と連携したアートプロジェクト。
- ・花イベント、花販売等。

●体験

- ・農業体験、BBQなどは家ではやりにくいので外でできると便利。家族で行くと思い出になる。手ぶらで行ける場所が良い。
- ・子どもは自分で作ったものや採ったものは喜んで食べる。
- ・焼きマシュマロ体験は面白い。ソフトボールくらい巨大なもの。
- ・期間限定でイベント的に体験できるものがあれば、それをめがけて人が集まる。
→企画力のある指定管理者が求められる。
- ・果物狩りは面白い。パイナップルなど、他地域にはないものがよい。ここでしかない体験。
- ・魚釣りができるとよい。

●飲食(メニュー)

- ・ソフトクリームは重要アイテム。ご当地ソフトがほしい。
⇒ゆず、酒かす、チョコ、あんこ(御座候)、共進牧場(市内の学校給食で使用)のミルクのソフト
⇒自分でつくれるソフトクリーム
- ・流しそうめん(揖保乃糸の活用)。
- ・魚、じゃこ鍋、できたてのゆず大福。
- ・道の駅弁当(道弁)がほしい。車の中でも食べやすいもの。
- ・うどんがあれば、小さな子ども連れでも利用しやすい(フードコートに行く目的もうどん)。
- ・普段利用であれば手ごろな価格が良いが、観光客向けにはレストランもあったほうが良い。

●飲食(施設・サービス)

- ・フードコートは周囲を気にせずご飯を食べられる。また、特産品を取り入れやすいのでは。
- ・キッチンばさみ、子ども用の食器の貸し出しは、店員に言うのではなく、自由にとれる方が気楽。しっかりと案内されていることが大事。
- ・ミルクや離乳食を作れるように、電子レンジとお湯が利用できるとよい。また、子ども用の取り皿や椅子なども利用できるとよい。
- ・アレルギーの子どもも一定数いるので、持参食になる。食べられる場所の確保やアレルギー表示が必要。
- ・子ども連れと大人だけの客との座席の分離。
- ・屋外と地続きだとよい。

●売り物

- ・限定のカプセルトイ(ガチャ)。
- ・緊急時の乳幼児用のおむつのバラ売り。
- ・普段はあまりお土産を買う機会がないが、食品でちょっとした自分たち用のお土産があれば、自分たちでも晩御飯用に使って食べられる。
- ・話題のお店が入ると良い。

●観光案内ブース

- ・チラシや映像だけではなく、クイズ形式やゲーム感覚で紹介する。
- ・名産品を簡単につくれる体験コーナーや体験イベント。
- ・展示について、子どもに興味を持たせるためには何かに触らせることが大事。ボタンを押せば光るなど。

●トイレ

- ・清潔でないと、子どもが我慢してしまうこともあり、清潔感のあるトイレがよい。
- ・キッズトイレがほしい。男女関係なく使用でき、大人は周りで見守れる。
- ・大人用と子ども用が一緒になったトイレや、上からのぞけるトイレがあると便利。
- ・きれいなトイレ。おもしろいトイレ。照明、壁の色などを工夫。
- ・子連れは荷物が多いため、広いトイレが良い。
- ・おむつ交換は、男性トイレにもあることが重要。
- ・トイレには、ベビーカーで個室まで入ることができれば助かる(たたまなくてよい)。

●その他の施設

- ・ベビーカーでも入りやすい、授乳室があるなどの配慮があるとよい。
- ・チャイルドシートや子どもが乗降しやすい、広い駐車場がほしい。
- ・施設に姫路の名産を取り入れたらPRになる。 →ex. 栃木県 益子焼を取り入れた総合運動公園
- ・駐車スペースは広い方がよく、歩道はカラー舗装されているなど、子どもにわかりやすいものが多い。
- ・自転車利用者用のサイクルラック。
- ・フリーWifi。